

子育て世帯意識調査 追跡調査結果報告書

2019年2月

HITOTOWA INC.



目次

1. アンケート調査概要	3
表1 アンケート調査概要.....	3
表2 比較調査概要.....	4
2. 集計結果.....	5
1. 回答者.....	5
2. 就労状況（父母別）	5
3. 回答者の年齢.....	6
4. 同居する家族の人数.....	6
5. 子どもの年齢（一人目）	7
6. ふだんのご近所の方とのお付き合いの程度	7
7. マンション内の知り合い（顔と名前の分かる人）の人数.....	8
8. 知り合ったきっかけ.....	8
9. 子育てをする上で、気軽に相談できるひとや場所の有無	9
10. 子育てをする上で、気軽に相談できるひとや場所の有無（父母別）	9
11. 地域の中で子育てを通じたお付き合いの状況	10
12. 地域で子育て家庭に対して理解し、協力しようとする雰囲気の有無.....	12
13. 災害時に近隣の人と助け合う関係があると感じるかどうか	12
14. 子育てや家事などについてあてはまるもの	13
15. 子育てをされていて孤独を感じることがある	15
16. 本物件を友人やお知り合いに勧めたいかどうか.....	16
17. 上記で回答した理由.....	16
18. 今の住まいに愛着を感じているかどうか.....	17
19. 本物件に住み続けたいかどうか	18
20. 上記で回答した理由（主な内容ごとに分類）	18
3. 結果まとめ	20

図表目次

図 1 回答者	5
図 2 父の就労状況	5
図 3 母の就労状況	5
図 4 回答者の年齢	6
図 5 同居する家族の人数	6
図 6 子どもの年齢（一人目）	7
図 7 ご近所の方とのお付き合いの程度	7
図 8 マンションの知り合いの人数.....	8
図 9 知り合ったきっかけ	8
図 10 子育てを気軽に相談できるひと・場所.....	9
図 11 子育てを気軽に相談できるひと・場所（父母別）	9
図 12 地域で子どもを預けられるひと	10
図 13 地域で子どもを気にかけてくれるひと	10
図 14 地域で子育ての悩みを相談できるひと	11
図 15 地域で子どもを遊ばせながら、立ち話をする程度のひと	11
図 16 地域で子育てに対して理解し、協力しようとする雰囲気.....	12
図 17 災害時に助け合う関係.....	12
図 18 子育てに充実感を味わっている	13
図 19 子育てに自信が持てるようになった.....	13
図 20 子どもがうまく育っているか不安になる	14
図 21 子育てのためにいつも時間に追われて苦しい.....	14
図 22 私と配偶者は、子育てや家事などの分担を助け合っている	15
図 23 子育てをしていて孤独を感じることもある	15
図 24 本物件を友人やお知り合いに勧めたいかどうか	16
図 25 今の住まいに愛着を感じているかどうか	17
図 26 本物件に住み続けたいかどうか.....	18

1. アンケート調査概要

HITOTOWA INC.では、2017年6月に川崎市内の新築賃貸マンションにおいて、子育て環境の把握と今後の支援活動の検討を行うため、子育て世帯への意識調査（以下、「前回調査」）を実施した。同マンションは、「子育てのしやすさ」や「災害時の共助」に繋がるコミュニティ形成を推進しており、子育て応援マンションをコンセプトとし、主に子育て世帯やDINKSが居住している（参考：総戸数/174戸、間取り/1LDK～3LDK、住居専有面積/47.13㎡～66.75㎡、家賃・共益費/月額約110,000～160,000円、入居時期/2017年3月）。

今回の調査（以下、「今回調査」）の対象は、前回調査の回答者59名とし、そのうち、転居をした1組を除いた58名に調査票を配布し、38名から回答を得た（回収率65.5%）。調査概要は、表1の通りである。

アンケートの分析にあたっては、既存調査・前回調査との比較を行っている（表2）。サンプル数の少なさと、前回調査の回答者がイベント参加者であるという偏りは、一般化する上で留意が必要な点である。しかしながら、今後の新築住宅における子育て支援の取り組みに資するものと考え、今回の調査結果をまとめた。子育て世帯が前向きに子育てをできるように、それにより子どもたちが健やかに育つことができる地域を望む立場から、本調査が有効に利用されれば幸いである。

表1 アンケート調査概要

調査対象	2017年6月（入居開始後3ヶ月時点）に実施した子育て世帯意識調査の回答者
調査方式	郵送配布・留置
調査時点	2018年12月
配布数	58人
回収数	38人
回収率	65.5%
実施主体	HITOTOWA INC.（調査協力：神奈川県住宅供給公社）

表2 比較調査概要

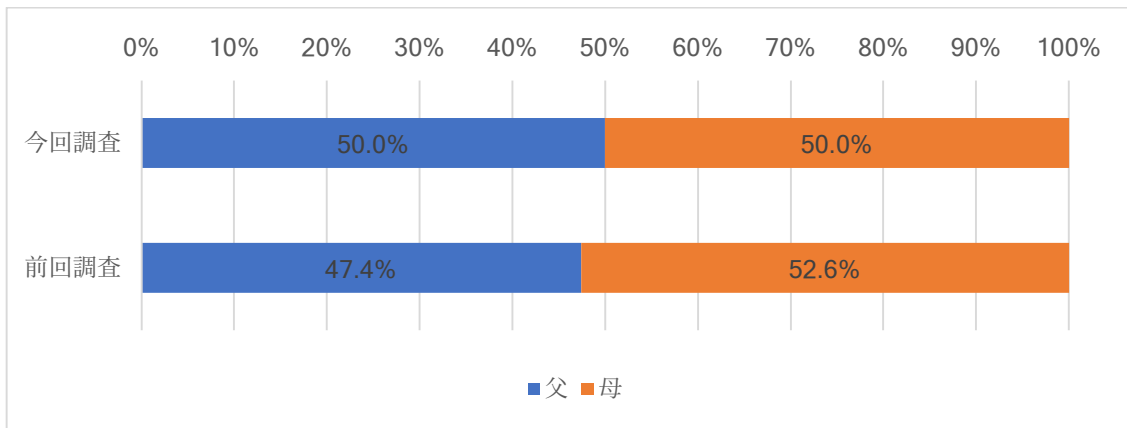
調査名/調査主体	調査時期	調査対象
新築賃貸マンションAにおける子育て世帯意識調査（前回調査）/HITOTOWA INC.	2016年6月	川崎市内の新築賃貸マンションに居住する子育て世帯の父母(妊娠期も含む)
第2回妊娠出産子育て基本調査(横断調査)報告書/ベネッセ教育総合研究所	2011年11月	全国の第1子を妊娠中(後期)の妻・夫、満0～2歳の第1子(ひとりっこ)を持つ妻・夫 今回調査との比較対象： 育児期妻：平均年齢31.9歳 育児期夫：平均年齢33.8歳 子ども(ひとりっこ)：満0～2歳
第3回川崎市地域福祉実態調査/川崎市	2013年1月	川崎市在住の20歳以上の男女
子ども・子育て支援に関する調査報告書/川崎市	2013年9-10月	川崎市民のうち、就学前の子ども・就学子どもがいる保護者 今回調査との比較対象： 就学前子どもがいる保護者
荒川区民総幸福度(GAH)に関する区民質問紙調査/東京都荒川区	2016年9-10月	荒川区在住の満18歳以上の男女個人

2. 集計結果

1. 回答者

「母」が50.0%、「父」が50.0%となっている。前回調査とほぼ同じ割合だった。

図 1 回答者



2. 就労状況 (父母別)

父は「就労中」が100.0%、母は「就労なし (47.4%)」「就労中(42.1%)」「産・育休中 (10.5%)」となっている。

図 2 父の就労状況

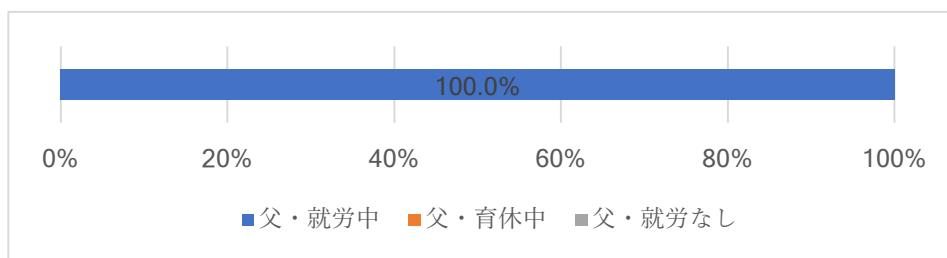
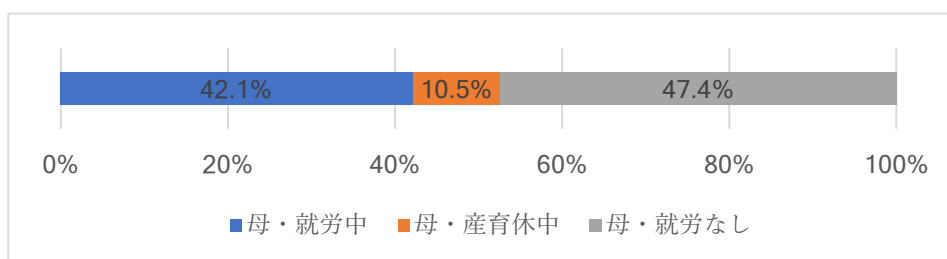


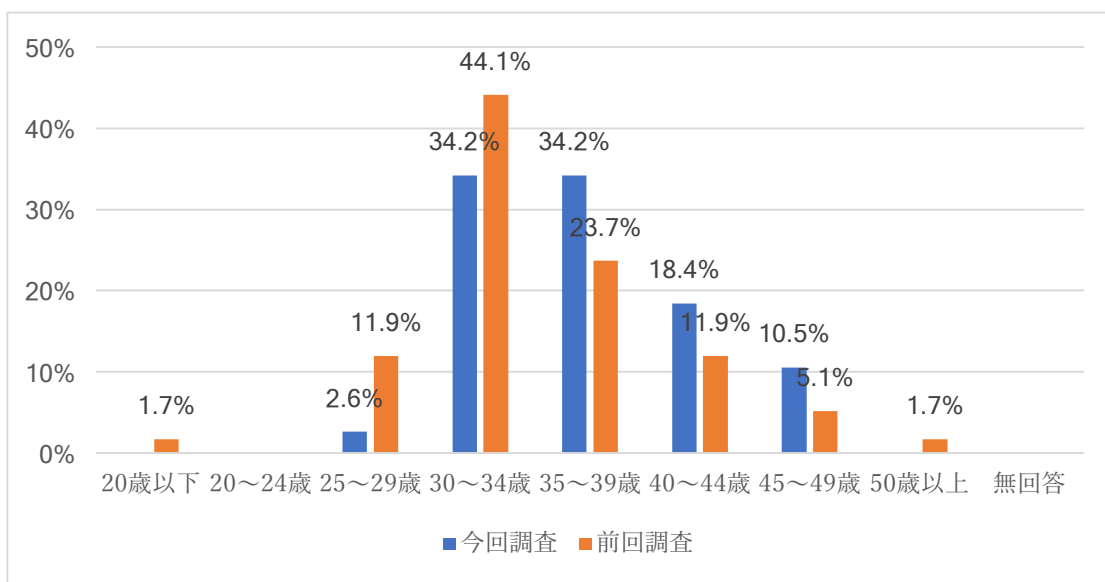
図 3 母の就労状況



3. 回答者の年齢

「30～34歳」「35～39歳」の割合が最も高く34.2%となっている。前回調査に比べ、回答者の年齢はやや上がっている。

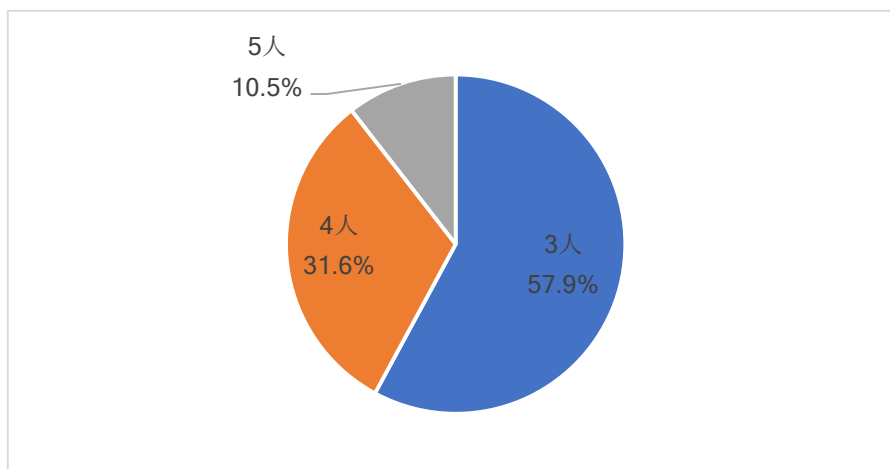
図 4 回答者の年齢



4. 同居する家族の人数

「3人」が57.9%、次いで「4人」が31.6%となっている。平均値は3.53人、中央値は3.0人だった。

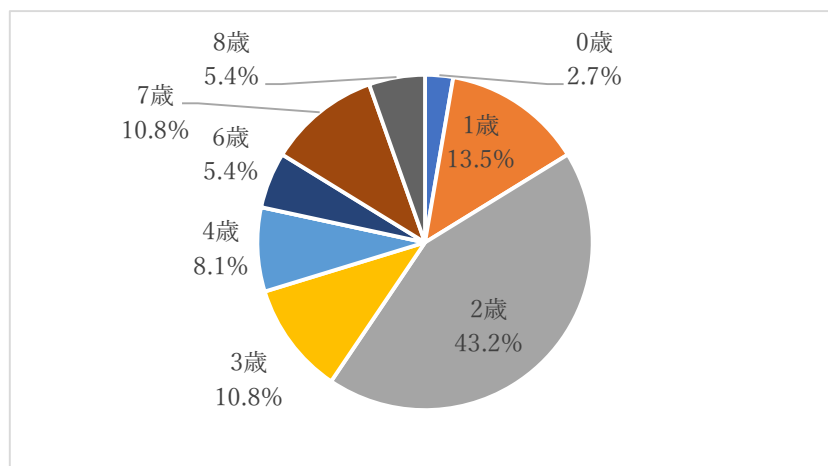
図 5 同居する家族の人数



5. 子どもの年齢（一人目）

「2歳」の割合が最も高く43.2%となっている。次いで、「1歳（13.5%）」「3歳（10.8%）」「7歳（10.8%）」となっている。平均年齢は、3.16歳だった。

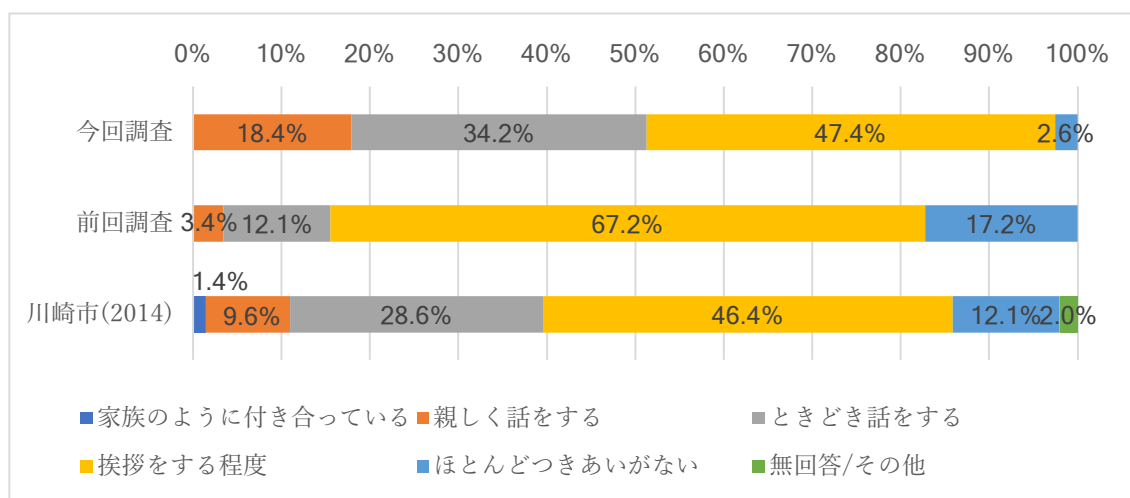
図 6 子どもの年齢（一人目）



6. ふだんのご近所の方とのお付き合いの程度

「挨拶をする程度」の割合が最も高く47.4%となっている。次いで、「ときどき話をする（34.2%）」となっている。前回調査に比べて、「親しく話をする」「ときどき話をする」の合計が3倍となった。

図 7 ご近所の方とのお付き合いの程度

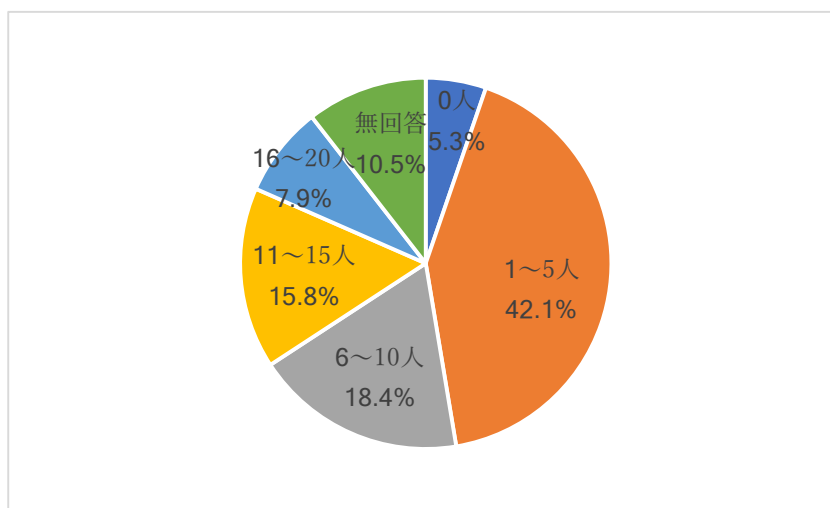


※前回調査は無回答を除いて割り戻した割合とした。

※川崎市(2014)は、「無回答」「その他」を「無回答/その他」として集計した。

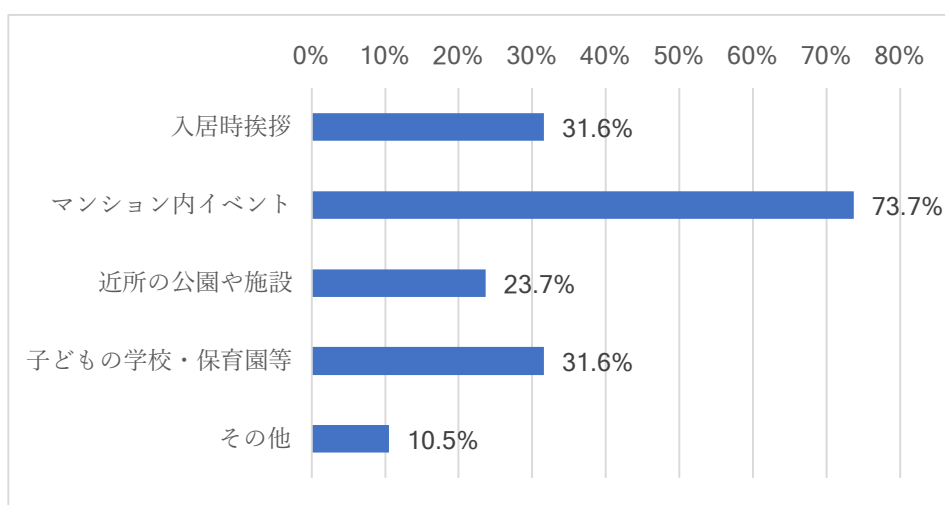
7. マンション内の知り合い（顔と名前の分かる人）の人数
「1～5人」の割合が最も高く42.1%となっている。次いで、「6～10人(18.4%)」
となっている。平均値7.6人、中央値5.0人(最大値20人、最小値0人)だった。

図8 マンションの知り合いの人数



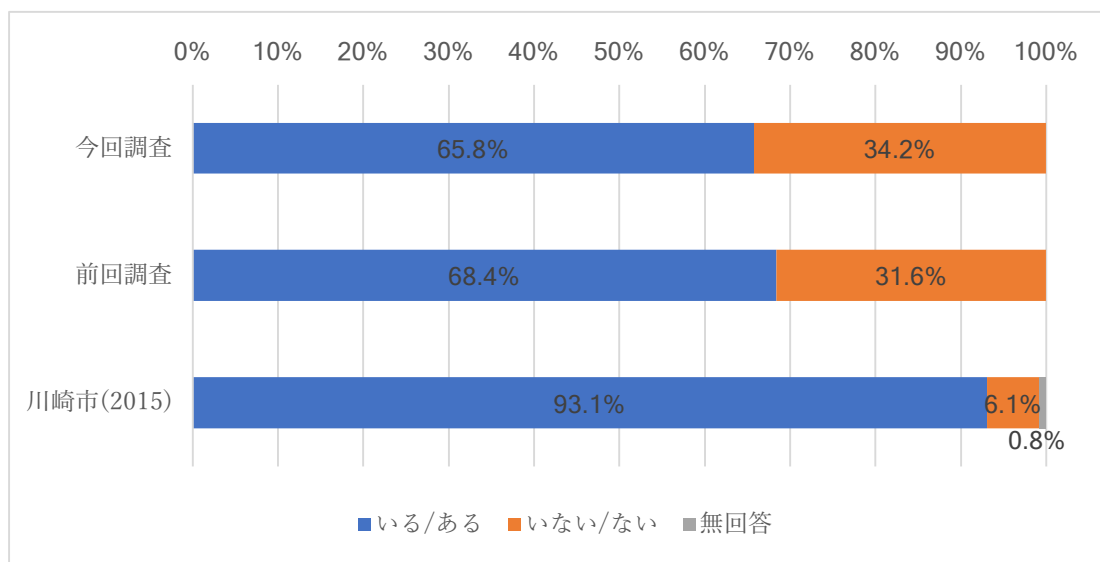
8. 知り合ったきっかけ
「マンション内イベント」の割合が最も高く73.7%となっている。次いで、「入居時の挨拶 (31.6%)」「子どもの学校・保育園等 (31.6%)」となっている。

図9 知り合ったきっかけ



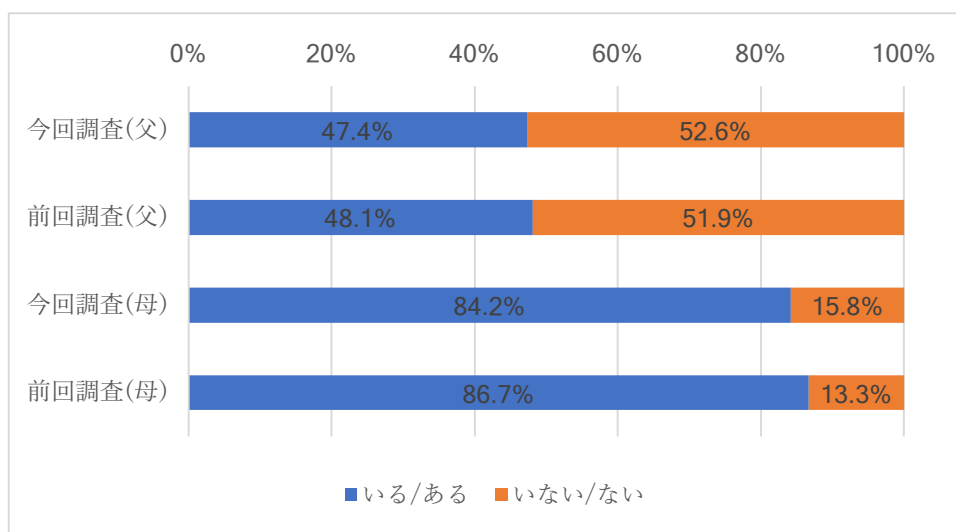
9. 子育てをする上で、気軽に相談できるひとや場所の有無
「いる/ある」が65.8%、「いない/ない」が34.2%となっている。川崎市(2015)に比べて、「いる/ある」の割合が低い。

図 10 子育てを気軽に相談できるひと・場所



10. 子育てをする上で、気軽に相談できるひとや場所の有無（父母別）
父は「いる/ある」が47.4%、「いない/ない」が52.6%となっている。母は「いる/ある」が84.2%、「いない/ない」が15.8%となっている。

図 11 子育てを気軽に相談できるひと・場所（父母別）

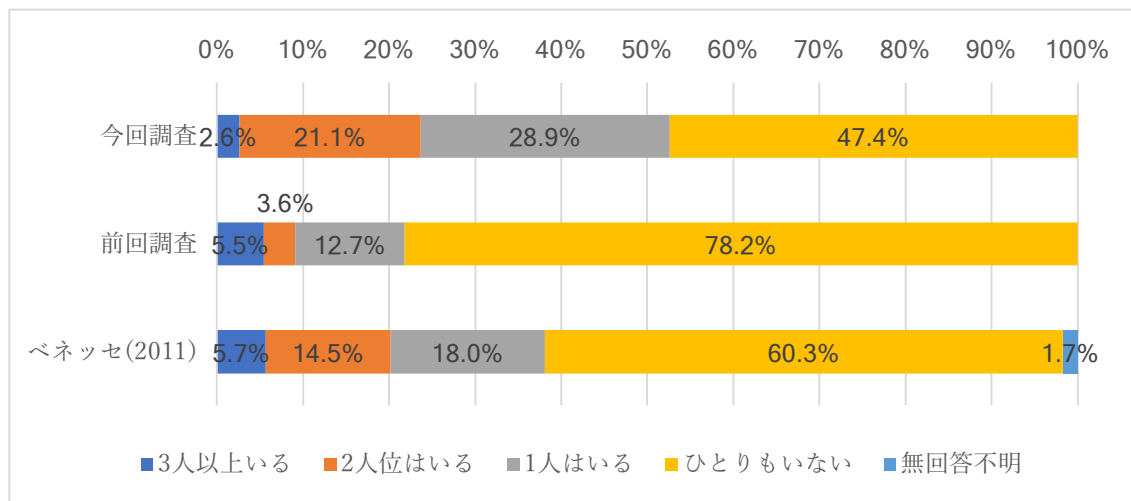


1 1. 地域の中で子育てを通じたお付き合いの状況

8-(1)子どもを預けられる人

「ひとりもない」の割合が最も高く 47.4%となっている。次いで、「1人はいる (28.9%)」となっている。1人以上いる割合が5割となった。

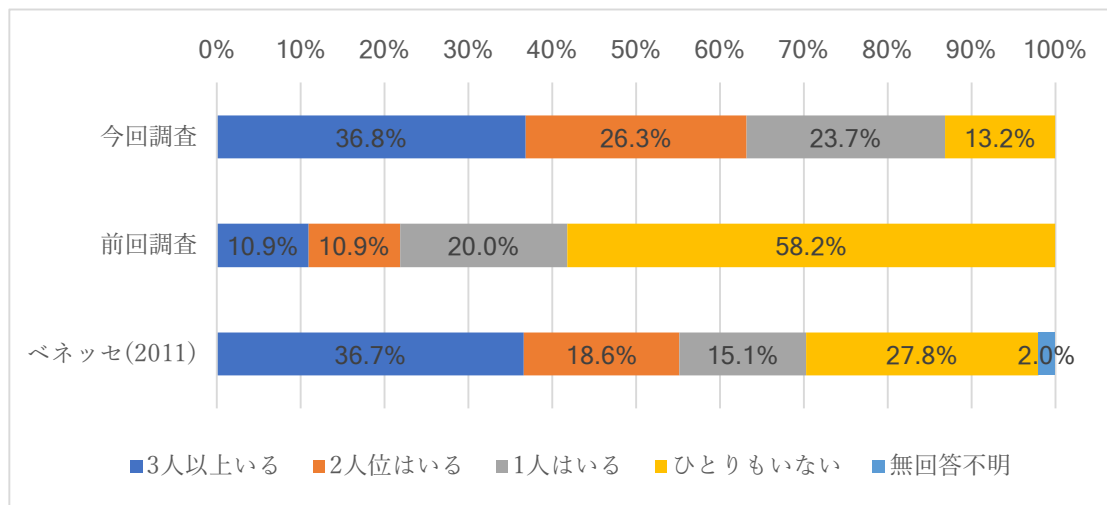
図 12 地域で子どもを預けられるひと



8-(2)子どもを気にかけてくれる人

「3人以上いる」の割合が最も高く 36.8%となっている。次いで、「2人位はいる (26.3%)」となっている。1人以上いる割合が8割となった。

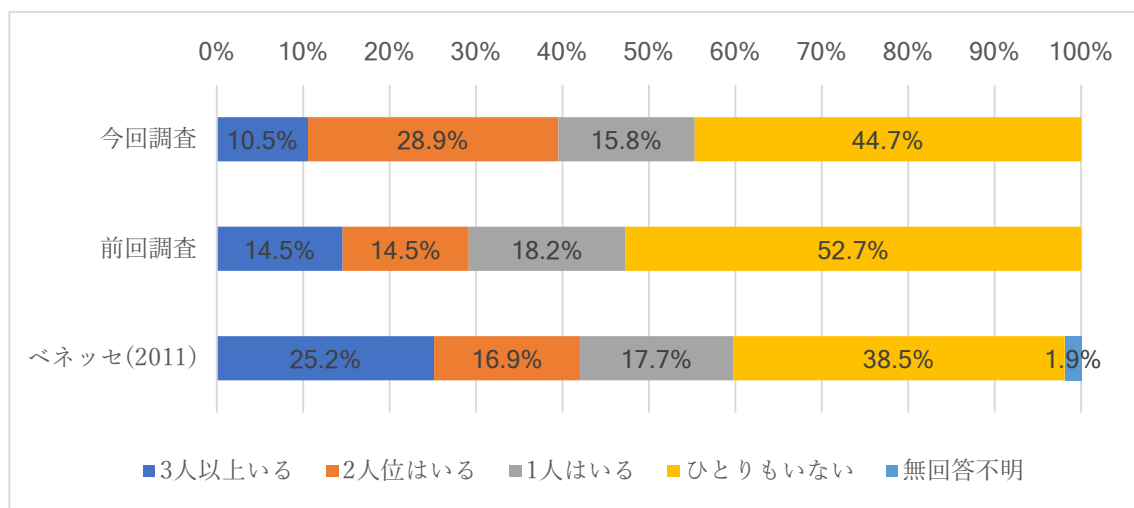
図 13 地域で子どもを気にかけてくれるひと



8-(3)子育ての悩みを相談できる人

「ひとりもない」の割合が最も高く 44.7%となっている。次いで、「2人位はいる (28.9%)」となっている。

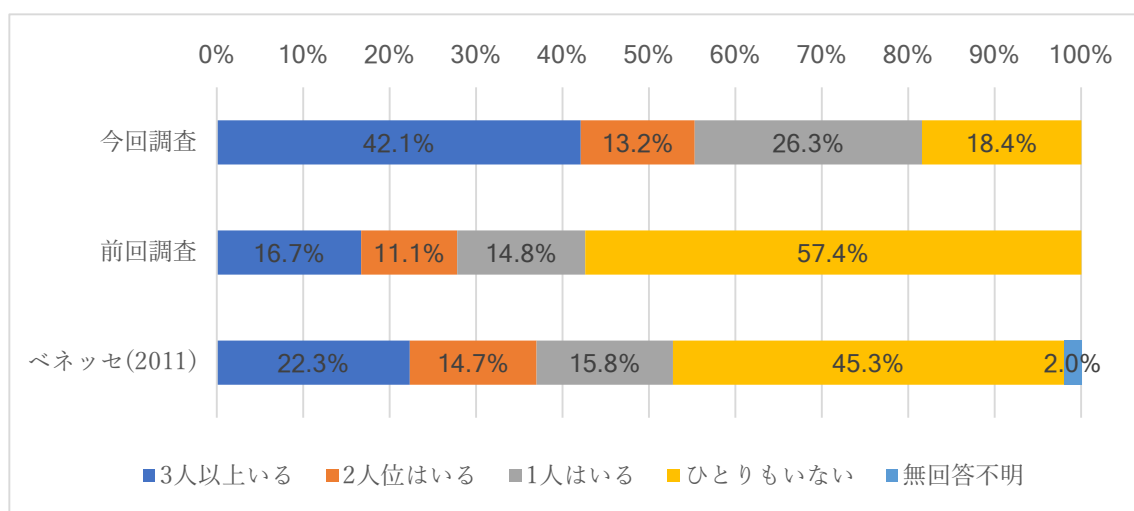
図 14 地域で子育ての悩みを相談できるひと



8-(4) 子どもを遊ばせながら、立ち話する程度の人

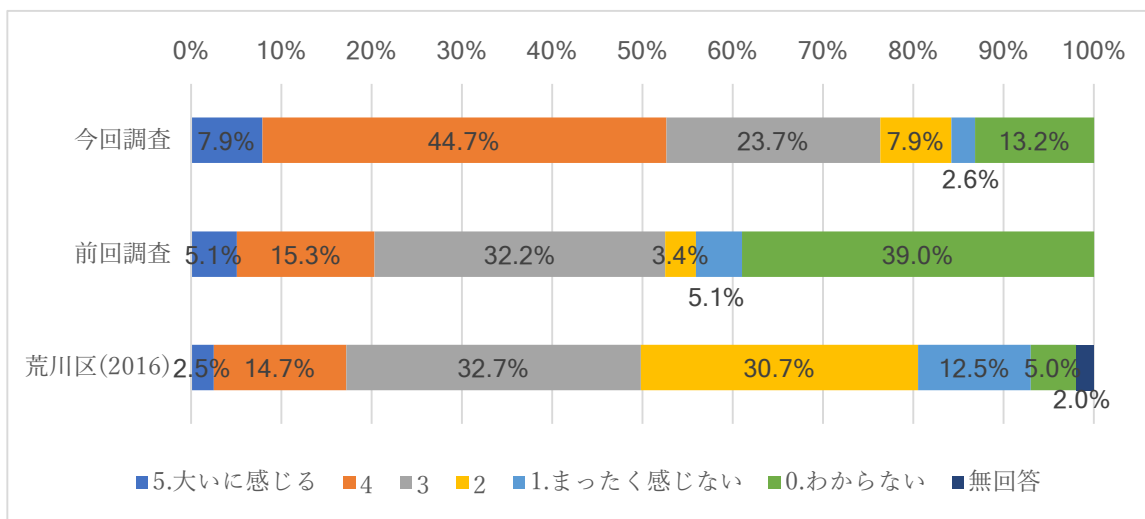
「3人以上いる」の割合が最も高く 42.1%となっている。次いで、「1人はいる (26.3%)」となっている。1人以上いる割合が8割となった。

図 15 地域で子どもを遊ばせながら、立ち話をする程度の人



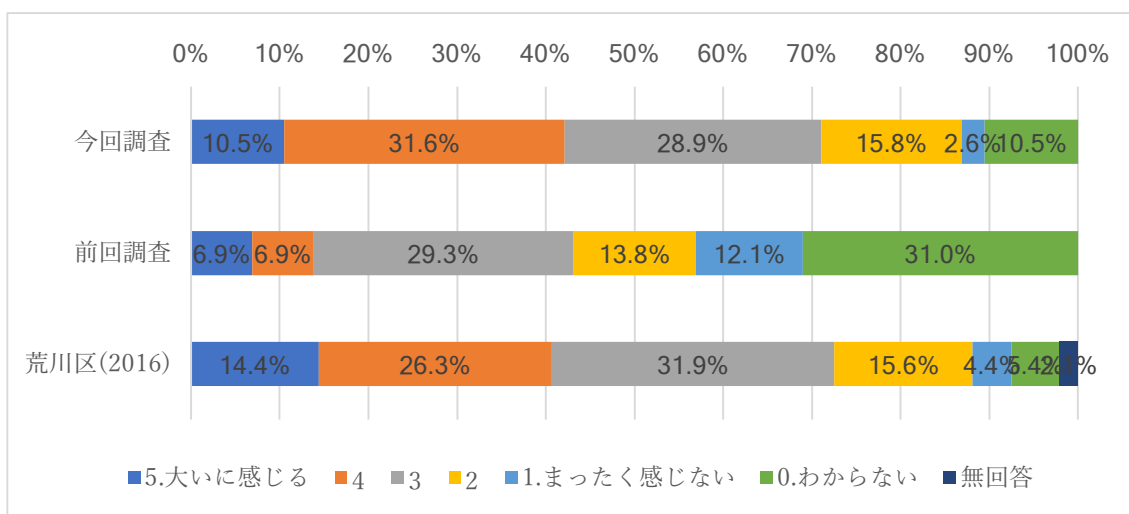
1 2. 地域で子育て家庭に対して理解し、協力しようとする雰囲気の有無
「やや感じる【4】」の割合が最も高く 44.7%となっている。次いで、「どちらでもない【3】(23.7%)」となっている。感じる(【5】 + 【4】)の割合が5割となり、前回と比べて2.6倍となった。

図 16 地域で子育てに対して理解し、協力しようとする雰囲気



1 3. 災害時に近隣の人と助け合う関係があると感じるかどうか
「やや感じる【4】」の割合が最も高く 31.6%となっている。次いで、「どちらでもない【3】(28.9%)」となっている。感じる(【5】 + 【4】)の割合が4割となり、前回と比べて3.1倍となった。

図 17 災害時に助け合う関係

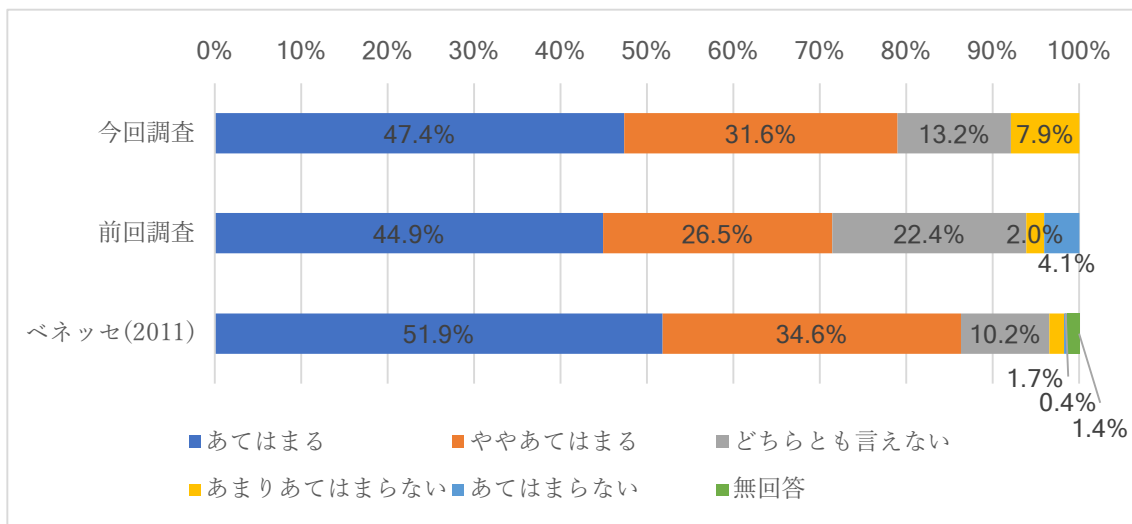


1 4. 子育てや家事などについてあてはまるもの

12-(1)子どもを育てることに充実感を味わっている

「あてはまる」の割合が最も高く 47.4%となっている。次いで、「ややあてはまる (31.6%)」、「どちらとも言えない (13.2%)」となっている。

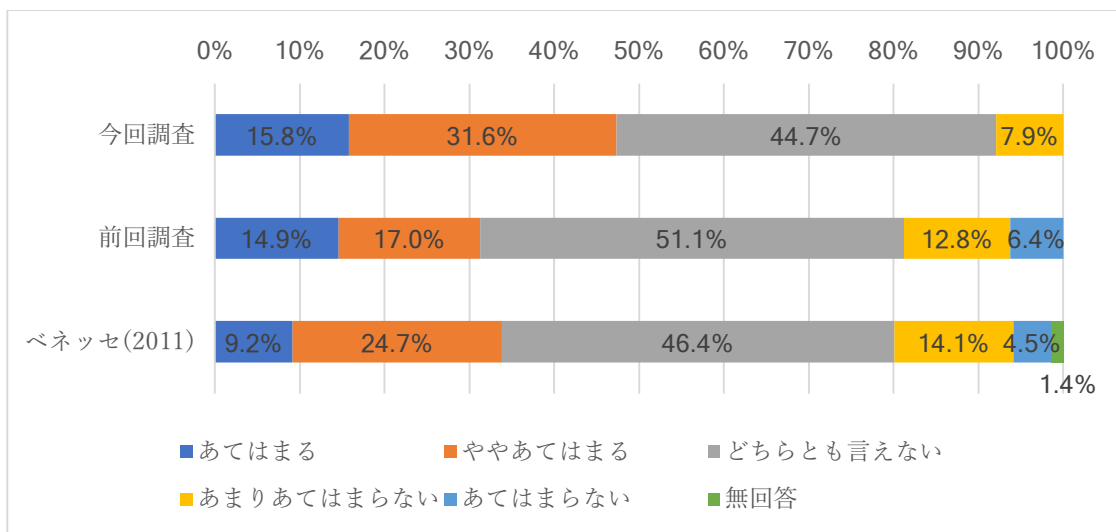
図 18 子育てに充実感を味わっている



12-(2)子育てに自信が持てるようになった

「どちらとも言えない」の割合が最も高く 44.7%となっている。次いで、「ややあてはまる (31.6%)」となっている。

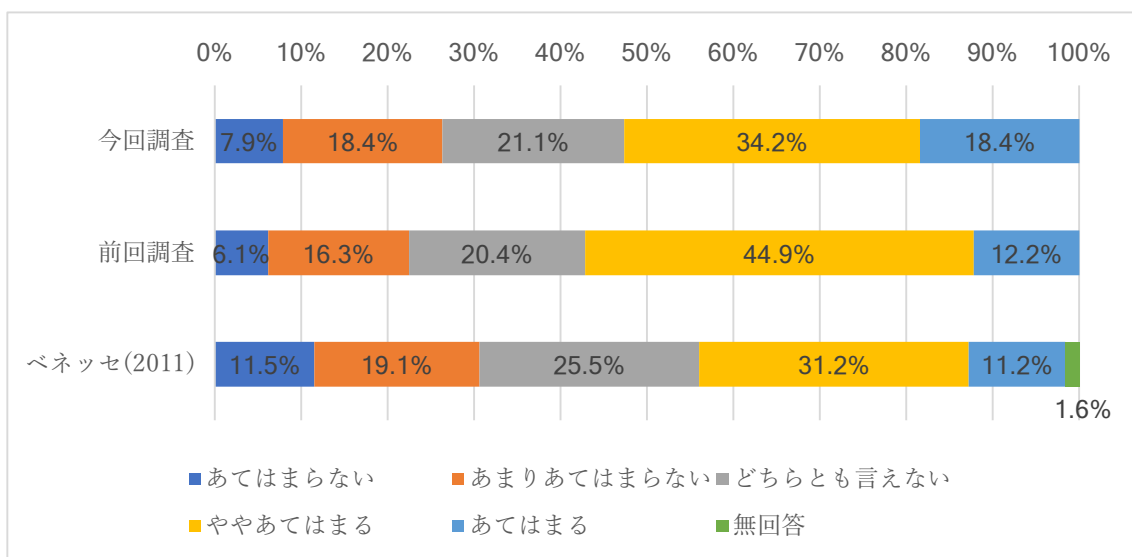
図 19 子育てに自信が持てるようになった



12-(3)子どもがうまく育っているか不安になる

「ややあてはまる」の割合が最も高く 34.2%となっている。次いで、「どちらとも言えない (21.1%)」となっている。

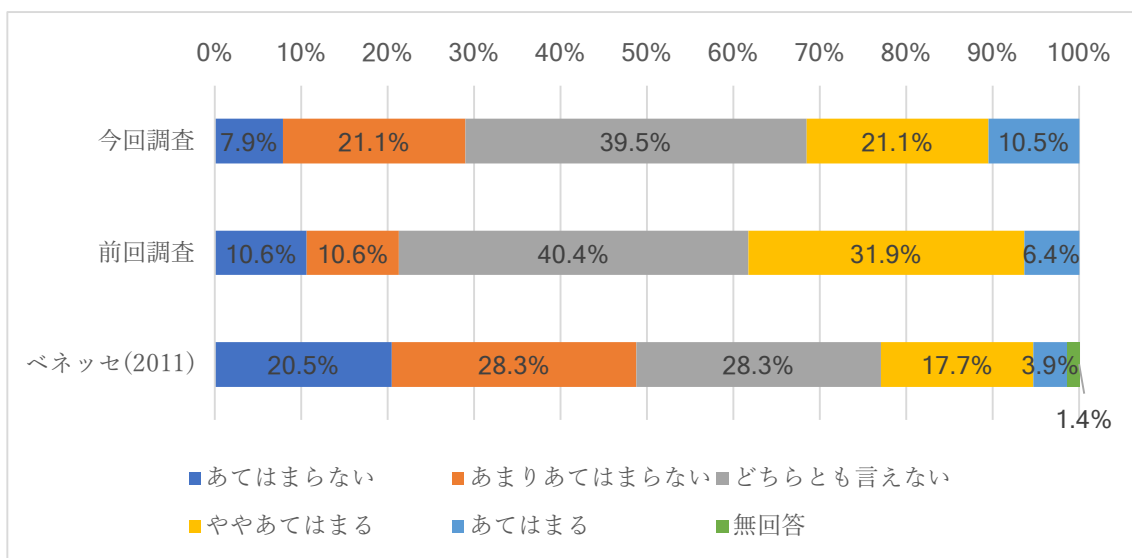
図 20 子どもがうまく育っているか不安になる



12-(4)子育てのためにいつも時間に追われていて苦しい

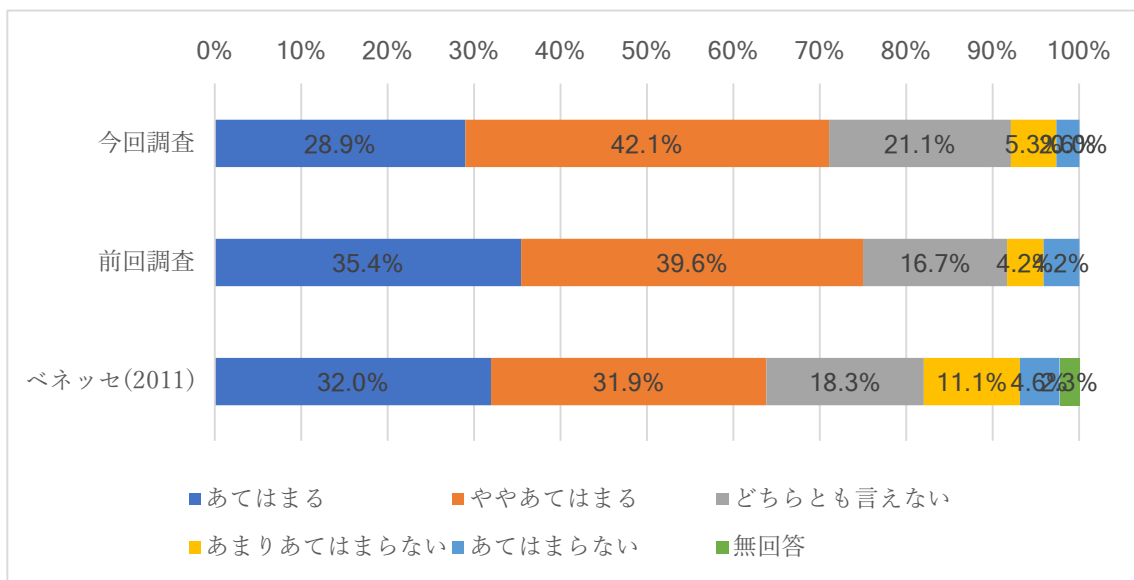
「どちらとも言えない」の割合が最も高く 39.5%となっている。次いで、「ややあてはまる (21.1%)」「あまりあてはまらない(21.1%)」となっている。

図 21 子育てのためにいつも時間に追われて苦しい



12-(5)私と配偶者は、子育てや家事などの分担に関してお互いに助けあっている「ややあてはまる」の割合が最も高く 42.1%となっている。次いで、「あてはまる (28.9%)」となっている。

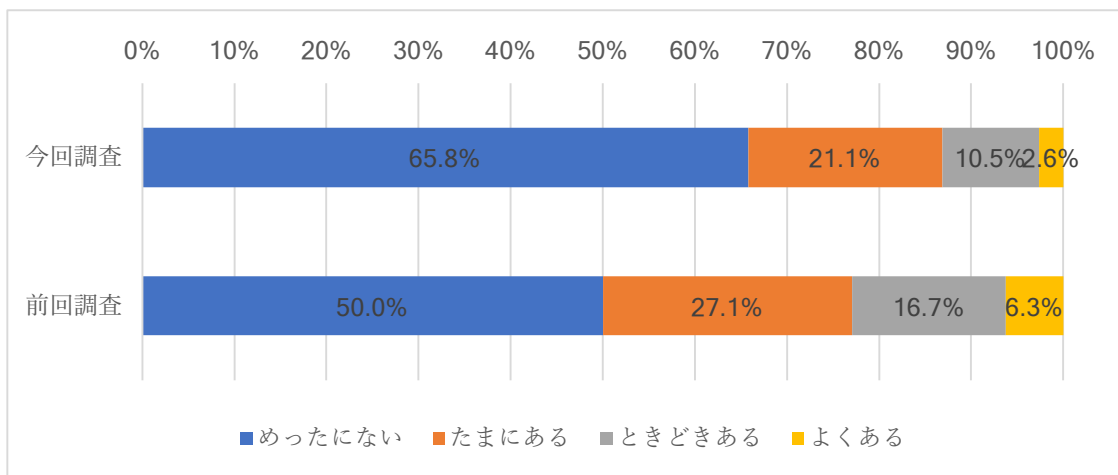
図 22 私と配偶者は、子育てや家事などの分担を助け合っている



15. 子育てをされていて孤独を感じることもある

「めったにない」の割合が最も高く 65.8%となっている。次いで、「たまにある (21.1%)」「ときどきある (10.5%)」「よくある (2.6%)」となっている。

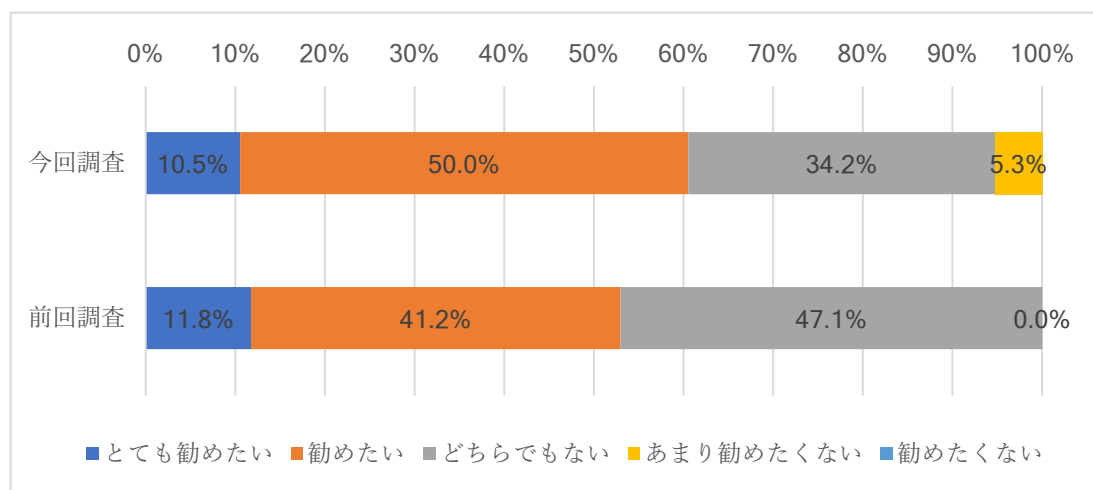
図 23 子育てをされていて孤独を感じることもある



1 6. 本物件を友人やお知り合いに勧めたいかどうか

「勧めたい」の割合が最も高く 50.0%となっている。次いで、「どちらでもない (34.2%)」となっている。勧めたい(「とても勧めたい」+「勧めたい」)の割合が 6 割となった。

図 24 本物件を友人やお知り合いに勧めたいかどうか



1 7. 上記で回答した理由

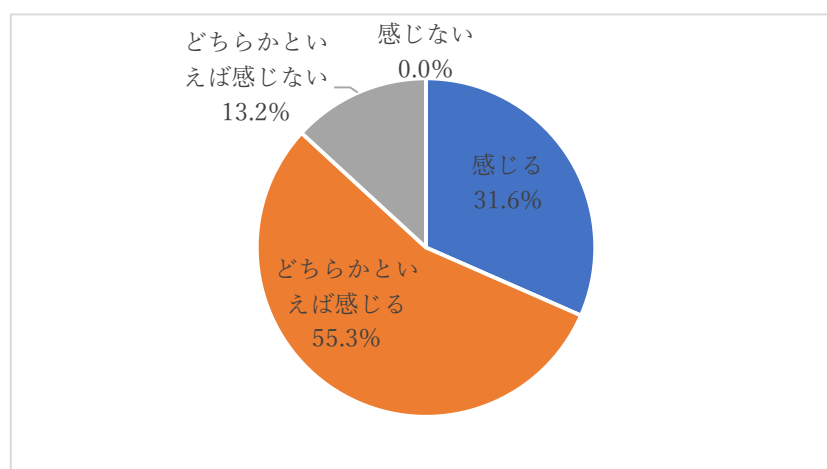
「とても勧めたい」「ある程度勧めたい」と回答した理由
部屋の設備もよく、子育て世帯のつながりもできやすいので是非勧めたい
子育て世帯が多いため、騒音など他のマンションに比べて気を使わなくて良いような気がする。家の作りが子育て世帯に良い。防犯面で安心。駅も学校も近い。床暖房最高。
子育てファミリー向けなので。
コミュニティの活動が盛んで子育て防災等で協力しているため
子育て環境と住環境のバランスが良い
子育て世代には環境が良いと思うから
子育て世帯が多い。
設備が整っているから
立地の良さ、暮らしやすさ,etc.
便利、快適
知り合いをつくる機会が多く、楽しめると思うため。

子育て向けだが、食料の買い出しが少し不便。歩道も狭く、子連れで歩くのに気をつかう。
子育てするのに便利だから
「どちらでもない」と回答した理由
友人本人が住みたいとのことであれば紹介する程度
購入を考える為
他のマンションとくらべて不足している部分が多い
自分から勧めたいとは思わない。自分自身が不便さを感じているので。子育てをしている人に聞かればお勧めしたい。
問9と同じ理由。子育てマンションという売りだが、逆に子育て世代が集まりすぎ、認可保育園のキャパを超えてしまっているのが余計苦しくなった。
「あまり勧めたくない」と回答した理由
駐輪場管理の仕方に不満がある。掃除の方の清掃の仕方に不満がある。管理人がいなく不便を感じる。イベントに協力的な方が少ない。他人事な人が多い。
家賃の価格帯が安いわけではないため

18. 今の住まいに愛着を感じているかどうか

「どちらかといえば感じる」の割合が最も高く 55.3%となっている。次いで、「感じる(31.6%)」となっている。感じる(「感じる」+「どちらかといえば感じる」)の割合が8割となっている。

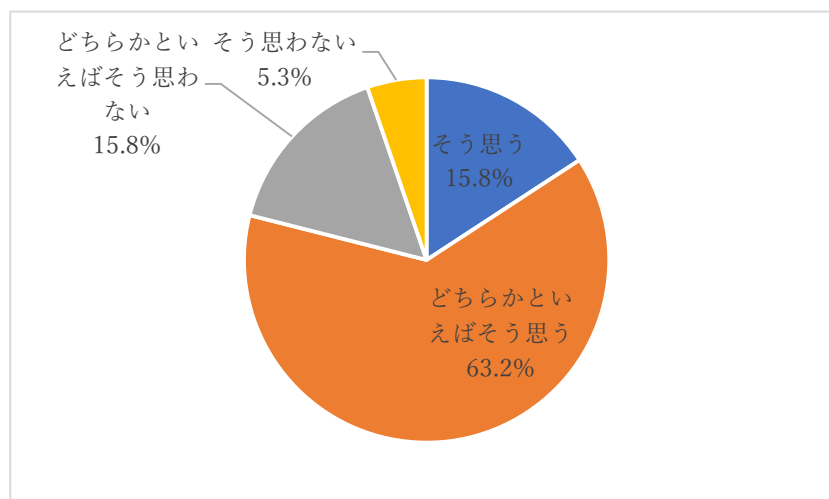
図 25 今の住まいに愛着を感じているかどうか



19. 本物件に住み続けたいかどうか

「どちらかといえばそう思う」の割合が最も高く 63.2%となっている。次いで、「そう思う(15.8%)」「どちらでもない(15.8%)」となっている。そう思う(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)の割合が8割となっている。

図 26 本物件に住み続けたいかどうか



20. 上記で回答した理由（主な内容ごとに分類）

「そう思う」・「どちらかといえばそう思う」と回答した理由	
分類項目	理由（自由記述）
子育ての環境/ つながり(6件)	子育て世帯が多くつながりができやすく、住み心地が良いため
	友人ができたから
	子どもの小学校が近いから
	子育てに配慮されているから
	子育てに優しい創り、雰囲気だから。周りにコトニアガーデンなど、子どもが遊べる場所が近くにある
	同世代の子どもが多いので、子どもの音に理解してもらえる
子育て環境/住 環境(1件)	保育園が近い、住環境が良い
子育ての環境/ 立地(1件)	①保育園が近い②子育て世帯が多く同じような家族構成の世帯が多い ため、協力できる③公園などが豊富
立地(1件)	立地の良さ

立地/設備(2件)	立地が良い、公園が近い、室内が冬暖かく、夏は涼しい
	交通の便が良く、住宅の設備も整っているため。
住環境(2件)	便利、快適
	住み心地が良い。(人、施設が新しい、近隣の施設が良い。コトニアガーデン等)
設備(1件)	設備が充実している
地元・実家(3件)	地元だから
	妻の実家が近く、職場にも割と近い
	実家、家族が近くに住んでいる為
「そう思わない」・「どちらかと言えばそう思わない」と回答した理由	
項目分類	理由(自由記述)
購入検討(1件)	他に良い住まいがあれば購入を含めて検討予定
利便性(1件)	周辺の便利さ
利便性/立地/交通/保育園(1件)	スーパーが近くにない。JR、バス便ともに少なく不便。湘南新宿の快速止まって欲しい。認可保育園に入れるという話だが、全く入れてない。これが一番苦しかった。(愛着を感じる理由に、動物園の動物の音が聴こえて面白い。子どもが泣き止む)
広さ(1件)	手狭になってきたため住み替えたい
家賃(1件)	家賃が高いため

3. 結果まとめ

- ご近所付き合いの程度は、「親しく話をする(前回調査 3.4%・今回調査 18.4%)」「ときどき話をする(前回調査 12.1%・今回調査 34.2%)」の割合が増加し、「挨拶をする程度(前回調査 67.2%・今回調査 47.4%)」「ほとんど付き合いがない(前回調査 17.2%・今回調査 2.6%)」の割合が減少した。
- 顔と名前の分かる知り合いの人数については、平均 7.6 名、知り合ったきっかけは、「マンション内イベント(73.7%)」、次いで、「入居時の挨拶(31.6%)」「子どもの学校・保育園等(31.6%)」だった。
- 地域での子育てを通じた付き合いは、前回調査では、全 4 項目で「ひとりもない」と回答する割合が最も高かったが、今回調査では、全 4 項目で「1人以上はいる」が「ひとりもない」と回答した割合を上回った。特に、子どもを気にかけてくれる人は「3人以上いる(36.8%)」、子どもを遊ばせながら立ち話をする程度の人「3人以上いる(42.1%)」が最も高い割合だった。
- 一方で、子育ての悩みを相談できる人の変化の割合は相対的に低く、子育てをする上で気軽に相談できるひとや場所の有無においても、同様に大きな変化が見られなかった。特に、父母別でみると、母は「いる/ある(84.2%)」、父は「いる/ある(47.4%)」であり、父の割合が低かった。子どもがうまく育っているか不安になる、孤独を感じるについては、前回調査に続いて一定数いる結果だった。
- 子育てに協力しようとする雰囲気があるかについては、「感じる(前回調査 20.4%・今回調査 52.6%)」、災害時に助け合う関係性があるかについては、「感じる(前回調査 13.8%・今回調査 42.1%)」と 2 倍以上増加した。
- 本物件を知り合いに勧めたいかどうか(推奨度)については、「勧めたい(60.5%)」、今後も住み続けたいかどうか(居住意向)については、「そう思う(79.0%)」だった。その理由として、自由記述では、「子育ての環境/つながり」を挙げた方が多かった。

以上のことから、ご近所付き合いについては、入居後1年半の期間を経て、付き合いの程が深まってきており、マンション内イベントがその主なきっかけとなっていたことが分かる。入居直後からの交流の機会の創出は、出会いのきっかけとしての意義はあったと考えられる。

地域での子育てを通じた付き合いに関しては、悩みを相談できるような関係性がある割合は、特に父親において低い傾向にあったが、全体として、気軽なお付き合い（「子どもを気にかけてくれる人」「子どもを遊ばせながら、立ち話する程度の人」等）の割合は増加していた。子育てに協力しようとする雰囲気を感じると回答した割合に加え、災害時に助け合う関係性の有無も増加が見られており、本物件の企画当初から目指していた「子育てのしやすさ」や「災害時の共助」につながるコミュニティが築かれつつあることがわかる。「しがらみ」にならず、「孤独」でもない関係性の構築に近づいているものと推察される。

現在、本物件では入居者によって、自治コミュニティ組織が運営され、入居後2年間の加入率は8割を保っている。ママサークルによって、年に数回のイベントや夏季プールが開催され、交流のきっかけとなるような取り組みや入居者自らが住環境を向上させていくような取り組みが行われてきている。

今後、子育てや災害時に支え合えるようなさらなる関係性への醸成と、入居者の暮らしを豊かにしていくための組織として持続的な運営を行い、賃貸マンションにおける自治コミュニティのモデルとなることが期待される。